



# 平成二十二年 度 夕陽会渡島支部総会・懇親会盛會裡に終了

夕陽会渡島支部副支部長 類 家 直 人

平成二十二年度の総会及び大懇親会・新会員歓迎会が、ホテル法華クラブ函館で開催されました。

総会は、竹内支部長の挨拶で始まり、夕陽会本部の土谷幹事長よりご祝辞をいただきました。その中で、母校の学部改編等の厳しい状況説明があり、夕陽会員の一致団結した取り組みの継続を強く感じました。

その後、報告・協議事項が滞りなく終わり、役員改選が行われました。二年間に渡りご尽力されました竹内支部長と川野幹事長に替わり、新たに、小林支部長と佐藤幹事長が選出され、渡島支部の新体制がスタートしました。

総会後、約百八十名のご来賓及び同窓会員が、夕陽賛歌を高らかに歌い、大懇親会・新会員歓迎会が開催されました。

本部の橋田会長に代わり、土谷幹事長のご発声で祝宴に入り、新会員の活気溢れる自己紹介が

始まりました。今年も若い会員から発せられる情熱と意気込みは、今後の渡島支部の発展を支える大きな力と感じました。大抽選会後の寮歌大合唱では、全会員の力強い歌声が会場に響き渡り、盛会のうちに閉会となりました。

先行きの不透明さと、経済不況が進む中、同窓の絆を、より一層深めることの大切さを実感する総会・大懇親会でした。



## 母校開学の精神を確かめ、 夕陽会の原点である親睦の和を深める とともに、教育の振興に寄与する。

### ● 運営方針 ●

#### 一、支部・支会の連携強化

- ① 会員の同窓意識を盛り上げる。
- ② 会員相互の助け合いを大切にする。
- ③ 支部と支会、支会相互のつながりを密にする。
- ④ 情報活動を活発化する。

#### 二、会員の向上・援助

- ① 会員相互の研修活動を促進する。
- ② 人材の発掘と登用を積極的に進める。

#### 三、新会員（新採用者・渡島管内勤務初経歴者）への援助・啓蒙に努める。

- ① 退職会員への感謝と激励に努める。
- ② 本部及び他支部との連携
- ③ 本部との連携を深めて、会の一層の充実・発展を図る。
- ④ 本部事業への積極的な協力を図る。
- ⑤ 他支部との密接な情報交換・連携を図る。
- ⑥ 本部からの支援を積極的に求める。

- 事業推進方針 ●
- 一、支会訪問と援助
- ① 各支会の総会・会合には積極的に参加し、支部と支会の連携を図る。
- 二、情報・資料の提供
- ① 管内及び他支部との情報交換に努める。
- ② 本部との情報交換を積極的に進める。

#### 三、『夕陽渡島』の発行

- ① 親しまれ読みやすい『夕陽渡島』の発行に努める。（年三回発行）

#### 四、研修事業の活発化

- ① 新会員激励会を開催し、教職への意欲づけを図る。
- ② 研修情報の収集及び「研修資料」の作成・提供を図る。
- ③ 会員研修の促進と研究実践者の積極的推進を図る。

#### 五、退職会員との連携

- ① 勇退者への感謝と激励の会を開催する。
- ② 夕陽会渡島支部「終身会員」への勧誘を促進する。
- ③ 勇退会員の資料集「勇退者の横顔と足跡」（第十八集）を発行する。
- ④ 勇退会員へ記念品を贈る。
- ⑤ 本部事業への積極的協力と参加
- ⑥ 本部主催の行事への積極的参加と協力を図る。
- ⑦ 本部前納会員への加入のための支援をする。

#### 七、関係機関との連携・提供

- ① 関係機関と連携を強化して、事業を推進する。
- 八、その他
- ① 教頭昇任者・校長採用者、受賞者等へ祝詞等の送付をする。
- ② 慶弔関係への迅速な対応をする。

支会だより

会員は減つても…



福島支会長  
(吉岡小学校)  
小川原 隆 男

千軒岳から矢越岬へと連なる美しい稜線、海に目を転じると南西の沖合には津軽半島がすぐそこに迫る風光明媚な町、福島町は、平成元年の福島町校長会機関誌『創峰』の巻頭言に「澄み渡る空と海、ダイナミックな海岸線、生命の荘厳な営みを繰り返す山々のうつろい。雄大な自然に漂う福島町は北海道最南端の町」と紹介しています。そして「小学校六校、中学校四校、次代を担う子どもたち、その未来を切り開くたくましさ」と豊かな人間性をはぐくむゆとりある教育を進めています。」と文章は続き、諸先輩方の教育に掛ける熱き思いが伝わってきます。今は、十校あった学校も青函トンネルの工事が盛んだった昭和三十年代をピークに人口の減少化が進み、六十三年間という長きに渡って受け継がれてきた吉岡中学校が平成二十一年度を

もって閉校になり、中学校一校、小学校二校の三校になりました。会員も昨年度の二十一名から十四名となつています。二月に行われた吉岡中学校閉校式には、地域の思いを背負い、地域とともに教育に専心してきた先輩諸氏がたくさん参加し思い出話に花を咲かせていました。

福島の教育は、学校・家庭・地域・関係機関が一体となつて地域行事への積極的な参加と地域教育力を生かした農作業体験(米作り)や漁業体験(地引き網)など地域との連携を大切にしたいカリキュラムの編成にありまます。この教育活動は、『未来を切り開くたくましさ』と豊かな人間性を育む』という教育理念の継承によるものです。

今年度も支会総会・懇親会を七月九日に行う予定ですが、①会員相互の親睦と連携を図る。②本部・支部との連携強化に努める。③本部・支部の各種事業への協力に努める。以上の事業計画を基に、夕陽会の更なる発展を願い、同窓の絆を深め組織を確固たるものとするために、支会の運営を進めていきます。

支会だより

「自然美術館八雲」より



八雲支会長  
(山越小学校)  
高 橋 厚 一

平成十七年十月一日、八雲町と熊石町が合併して誕生した新八雲町。日本海と太平洋の二つの海を持つ日本でも唯一の町です。自然美術館といわれるほど緑豊かな地で、町内に多くの公園やパークゴルフ場等の施設を有しています。昨年は、八雲落部の高速道路も開通し、札幌まで三時間程で行けるようにもなっています。そのため、連休中は、全道各地から観光客が来町し、パノラマパーク等は、人々で溢れています。また、スポーツ施設も充実しており、各種スポーツ団体の合宿地としても、利用されています。

四月二十八日に、平成二十二年総会・新会員歓迎会を八雲遊楽亭にて開催しました。当日、町主催の行事も重なり、少人数での開催も覚悟しておりましたが、新会員十五名を含む四十五名が参加し、本部幹事長・樋山聡様、渡島支部長・小林基英様、八雲町教育長・清水久雄様を来賓としてお迎えし、和やかな雰囲気の中で夕陽会八雲支会としての交流を深め、絆を更に強めることが出来ました。

現在町内には、小学校十三校(内複式十校)、中学校五校、高校二校、特別支援学校一校が設置されています。少子化の波は八雲の地にも及び、大関小学校が今年度で閉校になり、教頭が担任をもつ小学校が増えてき

ていますが、少人数の特色を生かしての体験学習や交流学習が積極的に進められています。八雲支会には、現職会員が八十五名おり、町内には、OBや一般職の方も多く居住されています。支会事務局は、これまで八雲小・八雲中を除いた小中学校の輪番で行われていたことが大変難しくなり、今年度は、浜松小・山越小の合同で業務を推進しています。

夕陽会八雲支会としては、今後同窓意識を更に強め、八雲町教育に寄与していくよう努力して参る所存です。

平成22年度

夕陽会渡島支部各支会役員名簿

支会名	支 会 長		幹 事 長	
	氏 名	所 属	氏 名	所 属
松 前	小 熊 隆 志	館 浜 小	渡 邊 聡	館 浜 小
福 島	小川原 隆 男	吉 岡 小	加 藤 良 明	吉 岡 小
知 内	齋 藤 敏 子	湯ノ里小	五十嵐 義 幸	湯ノ里小
木古内	佐 藤 耕 一	鶴 岡 小	鷺 田 里 方 子	鶴 岡 小
北斗市	橋 本 公 伸	萩 野 小	井 上 嗣 仁	萩 野 小
七 飯	前 田 治 彦	七 飯 中	土 橋 史 人	七 飯 中
鹿 部	川 野 真 一	鹿 部 中	浦 田 慎 一	鹿 部 中
森	体阿弥 順 一	駒ヶ岳小	山 内 淳 禎	駒ヶ岳小
八 雲	高 橋 厚 一	山 越 小	大 山 真 由 美	山 越 小
長万部	工 藤 彰 子	長 万 部 小	一 戸 裕 之	長 万 部 小
五 稜	嶋 田 聡	渡島教育局	北 嶋 公 博	渡島教育局

平成22年度

夕陽会渡島支部役員名簿

役 職	氏 名	所 属
顧 問	川 合 正 芳	終身会員
	藤 枝 勝 雄	終身会員
	黒 崎 勇 司	終身会員
	竹 内 良 容	終身会員
支 部 長	能 戸 誠 一	上 磯 小
	小 林 基 英	藤 城 小
副支部長	類 家 直 人	七 重 小
	細 川 敬 太 郎	久 根 別 小
監 査	橋 本 公 伸	萩 野 小
	川 野 真 一	鹿 部 中
幹 事 長	佐 藤 幸 男	松 小
副幹事長	高 橋 伸 夫	落 部 小
会 計 幹 事	小 野 寺 幸 恵	藤 城 小
	小 野 寺 徹	八 雲 小
庶務幹事	新 谷 公 康	久 根 別 小
	檜 野 人 範	木 古 内 小
広 報 幹 事	河 野 哲 郎	森 小
	山 内 淳 禎	駒ヶ岳小

▶夕陽会渡島支部事務局◀

〒049-3124

八雲町浜松239

浜松小学校内

佐藤 幸 男

電 話 0137-62-2462

F A X 0137-62-3290

会 務 中 間 報 告

〔平成21年度〕

4月1日(水) 採用校長・昇任教頭へ祝詞を送付

8日(木) 第四回渡島支部役員会を開催

(萩野小学校)

23日(金) 平成22年度総会・新会員歓迎会・

大懇親会祝詞等依頼文を送付

27日(火) 小熊隆志校長(館浜小)のご尊父

様ご逝去：申電

28日(水) 八雲支会総会・懇親会

(八雲遊楽亭)

本部：橋山副幹事長代行

支部：小林支部長代行

〔平成22年度〕

5月8日(土) 渡島支部総会・大懇親会・新会員

歓迎会を開催

(ホテル法華クラブ函館)

14日(金) 渡島支部総会・懇親会

五稜支会総会・懇親会

歓迎会の礼状を送付

知内支会総会・懇親会

(川波 本部：橋田会長)

19日(水) 三浦範喜先生(熊石第二中)のご

母堂様ご逝去：申電

21日(金) 森支会総会・懇親会

(フラザ武蔵 本部：土谷幹事長)

28日(金) 第三回本部役員会

(ロワジールホテル函館)

佐藤幹事長

6月4日(金) 本部総会・懇親会の案内を発送

第四回本部役員会並びに顧問・参

与会(函館国際ホテル)

7日(月) 小林支部長 佐藤幹事長

北斗支会総会・懇親会

(ホテル海王館)

本部：橋田会長

土谷幹事長

支部：小林支部長

11日(金) 鹿部支会総会・懇親会

(大寿司本部：橋田会長)

支部：類家副支部長

長万部支会総会・懇親会

(温泉ホテル)

本部：土谷幹事長

支部：細川副支部長

17日(木) 山崎晃校長(熊石第一中)のご母

堂様ご逝去：申電

18日(金) 七飯支会総会・懇親会(かみむら

本部：尾島副会長)

支部：小林支部長

19日(土) 全国支部長会議・総会

(函館国際ホテル)

小林支部長 佐藤幹事長

夕陽本部懇親会(函館国際ホテル)

渡島教育局 和田基典局長様へご

挨拶(小林支部長 佐藤幹事長)

25日(金) 木古内支会総会・懇親会

(清本鮎 本部：橋田会長)

支部：細川副支部長

7月2日(金) 松前支会総会・懇親会

(旅館よこはま荘

本部：土谷幹事長

支部：小林支部長

9日(金) 福島支会総会・懇親会

(福寿司 本部：天野副会長)

支部：類家副支部長

12日(月) 第一回支部役員会を開催

(藤城小学校)

13日(火) 渡島教育委員会教育長会

田中健一會長様にご挨拶

(小林支部長 佐藤幹事長)

16日(金) 第一回支会会長・幹事長会議を開催

(ホテル法華クラブ函館)

本部：橋田会長

第一回支部役員研修会を開催

(天金)

講師：渡島教育委員会教育長会

田中健一會長様)